

## 2020年8月ドミニカ共和国内政、外交、経済定期報告

在ドミニカ共和国日本国大使館

### 1 内政

#### (1) 新型コロナウイルス

ア 8日、メディーナ大統領は夜間外出禁止令を含む新型コロナウイルスの各種対策措置を25日間延長する大統領令を公布。国内全域に於いて、夜間外出禁止令を8月9日(日)から25日間延長。

イ 16日、アビナデル大統領は、大統領就任宣誓式において演説を行い、新型コロナウイルス感染症問題の克服及び汚職撲滅への強い決意を表明。

ウ 16日、アビナデル大統領は、社会支援プログラム「FASE」「Quedate en Casa」「Pa'ti」を12月まで継続すると発表。

エ 19日、アビナデル大統領は年内の公衆衛生関連予算の15,000百万ペソの増額、夜間外出禁止令の9月上旬までの継続及びパトロールの強化、200万人を対象とした家族健康保険加入手続きの開始、PCR検査能力の1日7,000件への拡大、全国9カ所における計2,050床の隔離施設の増設、1,000名の医師の手配、民間医療機関との合意によるICU設備の20%拡大等からなる新政権の新型コロナウイルス感染症対策措置を発表。

#### (2) メディーナ政権

ア 5日、政府はマリア・トリニダ県ナグア市に911緊急システムを設置し運用を開始。ナグア市、カブレラ市、エル・ファクトル市、リオ・サン・フアン市の各自治体の住民に対応。

#### (3) アビナデル新政権

ア 9日、アビナデル次期大統領は、16日就任後、不要な政府関係機関の統廃合等を通して得た財源で、2020年12月までに国民200万人を健康保険に含め、全てのドミニカ人が医療サービスにアクセスできるようにすると発言。

イ 13日、アルモンテ次期エネルギー鉱山大臣は、新政権においてプンタカタリーナ石炭火力発電所の建設プロセスの経済的、財政的監査を実施すると発表。

ウ 18日、マカルージャ大統領府大臣は、新政府の綱領は基本となる保健衛生、教育、経済の3つの柱を再構築したと発言。

エ 20日、アビナデル大統領は、ドミンゲス駐日ドミニカ(共)を含む在外公館の大使20名の解任及び新政権における大統領夫人室の廃止を発表。

#### (4) 熱帯性暴風雨「ラウラ」被害状況

ア 22日から23日にかけて熱帯性暴風雨「ラウラ」が当国中部から北西部を通過し、大雨と強風による被害が発生。

イ 24日、緊急オペレーションセンター(COE)は、死者5名、避難者8,95

5名、避難所避難者282名（公共避難所は15カ所）、被災世帯1,791件、家屋倒壊25件（全壊9件、半壊16件）、孤立地域56地区、152の送電網の損壊（725,910世帯に影響）、101件の水道の損壊（1,564,534名に影響）等の被害の発生を報告。

## 2 外交

（1）4日、コザック米国務次官補代行（西半球担当）はアルバレス次期外務大臣とベネズエラを含む南米地域の問題について会談を行った。

（2）6日、バルガス外相は2019年8月－2020年8月の外交活動及び第2期メディーナ政権（2016年－2020年）の外交成果に係る報告会を開催。メディーナ政権下の外交成果として、中国との外交関係樹立及びドミニカ（共）史上初の安保理非常任理事国就任を強調。米国との外交・政治・経済関係の強化及び隣国ハイチとの良好な関係促進、中国、トルコ、アンティグア・バーブダにおける大使館及び上海、香港、仏領ガイアナにおける総領事館の開設、ベネズエラ与野党間対話の主宰、コロンビア和平合意への関与等地域情勢への貢献等について言及。また、新型コロナウイルス感染症対策における日本の支援に対して謝意を表明した。

（3）6日、ドミニカ共和国農務省は中国政府との間で、当国産のハス種アボカドの対中輸出を可能にするための植物検疫プロトコルへの署名を発表。

（4）16日、ポンペオ米国務長官はアビナデル大統領就任式出席のため当国を訪問。同日、アビナデル大統領と、共通の目標であるベネズエラの民主主義への平和的移行を達成するための取り組みについて会談を行った。同会談には、バーンスタイン米国大使、コザック米国務次官補代行、ペーニャ・ドミニカ（共）副大統領、アルバレス外務大臣及びヌニェス外務省官房長が出席参加。

（5）16日、ラヤ西外務・欧州連合・協力外務大臣は、ドミニカ（共）の新型コロナウイルス感染に伴う保健衛生の問題対応において協力することを確認。

（6）18日付「リスティン・ディアリオ」紙は、「ドミニカ共和国のバランスは米国に傾斜、中国との関係は冷却」との見出しで、アビナデル新政権と米国及び中国との関係について報道。

## 3 経済

（1）9日、中央銀行は、7月の海外からの家族送金が8億2,770万ドルに達し、前年同月比で29.3%増加したと報告。

（2）10日、エンリケ・フェルナンデス自動車販売協会（ACOFAVE）会長は、2020年上半期の新車と中古車の総需要が48%減少したと発表。

（3）20日付「オイ」紙は、2020年上半期における新型コロナウイルス感染症に係る医薬品の輸入が27.5%増加したと報道。

（4）24日、トーレス・フリーゾーン協会（ADOZONA）副会長は、コロナ禍の7

月以降、フリーズーンにおける輸出が3.7%増加したと発言。